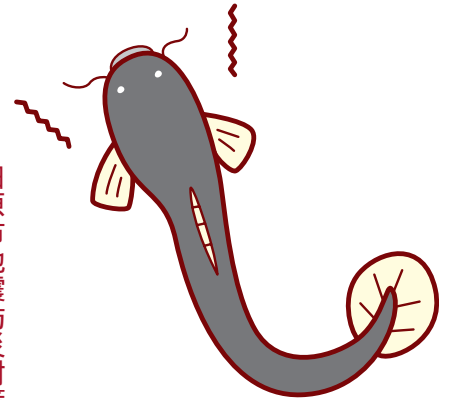


# 地震が発生したら...

## 想定される被害は？



田原市地震防災対策基礎調査から

いつ起きてもおかしくないといわれている東海地震や東南海地震。その地震が発生したら、田原市はどんな被害を受けるのでしょうか。田原市では、地震防災対策基礎調査を行い「地形」「地質」などの自然の条件や「どこにどのような建物があるか」「どこにどれくらいの人が住んでいるか」という社会的条件などから、どれくらいの被害があると予想されるか報告書としてまとめました。今回は、その中の一部をご紹介します。

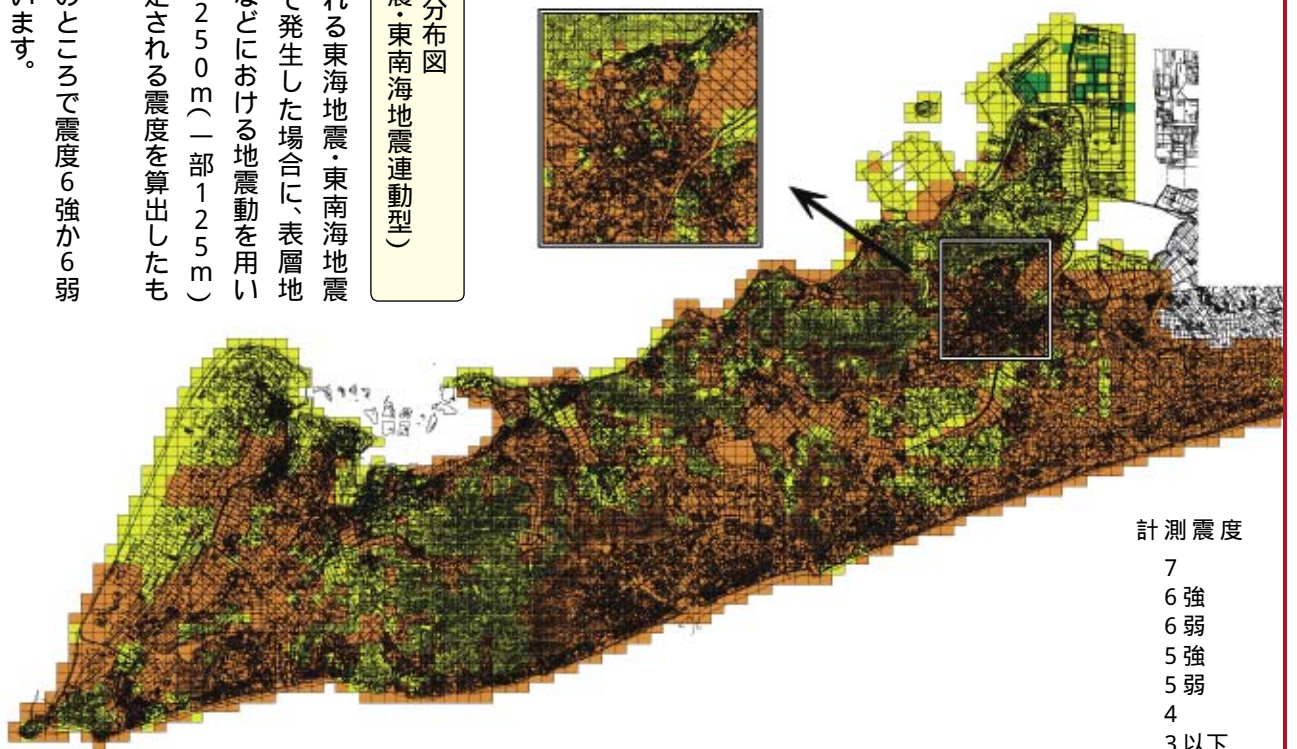
田原市では、田原市地震防災対策基礎調査の結果を基礎資料として、防災対策をさらに進めていきます。「震度分布」「液化化危険度分布」「津波浸水分布」などの予測図は、田原市ホームページで公開する予定です。

防災対策室23局3548

想定される東海地震・東南海地震が連動して発生した場合に、表層地盤モデルなどにおける地震動を用いて解析し、250m（一部125m）ごとに推定される震度を算出したものです。

大部分のところで震度6強か6弱となっています。

推定震度分布図  
(東海地震・東南海地震連動型)



計測震度  
7  
6強  
6弱  
5強  
5弱  
4  
3以下